

## 腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療 (Endovascular Aneurysm Repair : EVAR) はじめました

腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療 (Endovascular Aneurysm Repair : EVAR (イーバー)) は、約10年前から我が国の保険診療に収載されましたが、高度な設備と技術が必要で、岩手県内では盛岡地区の専門施設 (岩手医大と岩手県立中央病院) でしか行われておりませんでした。今回、胆沢病院血管外科が岩手県南地区では唯一の実施施設として認定され、本年5月より治療を開始いたしましたので紹介させていただきます。

ステントグラフトとは、図1のようなステント (金属のバネ状の骨格) に人工血管 (グラフト) を被覆した特殊な人工血管のことです。EVARは、カテーテルを用いてステントグラフトを動脈内に入れることで、お腹を切らずに腹部大動脈瘤を治療する手術法です。

実際の手術は、左右の太ももの付け根 (大腿動脈上) を3cmほど切開し、ここから「胴体」と「脚」に分かれたステントグラフトを挿入し、X線透視下に動脈瘤の中で合体します (図2)。通常は無輸血で2～3時間程度で終了し、手術翌日から食事や歩行が可能であり、術後1週間程度で退院となります。

これまでの人工血管置換手術 (開腹手術) に比べると格段に体の負担が少なく、年齢や併存疾患の問題で手術が躊躇されていた腹部大動脈瘤の患者さんにも治療を提供できる可能性が広がりました。実際はすべての症例にこの治療を行う訳ではなく、従来の開腹治療の方がメリットが多い場合もありますので、患者さん個々の状態により最適な治療法を選択させていただいております。

胆沢病院の血管外来は、毎週 月・水・木曜日ですのでお気軽にご紹介下さい。

病理科長 (兼血管外科) 玉手 義久



図1 実際のステントグラフト

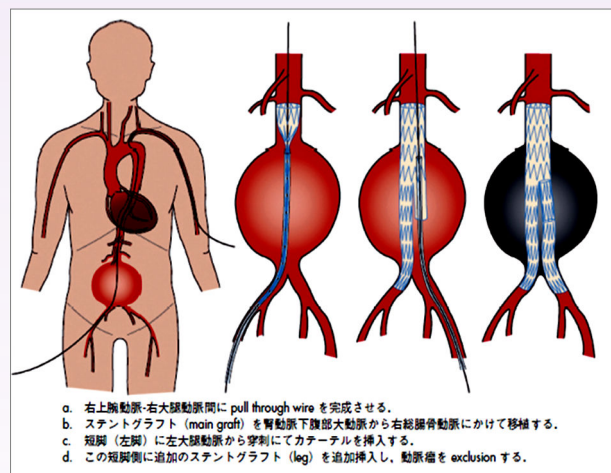


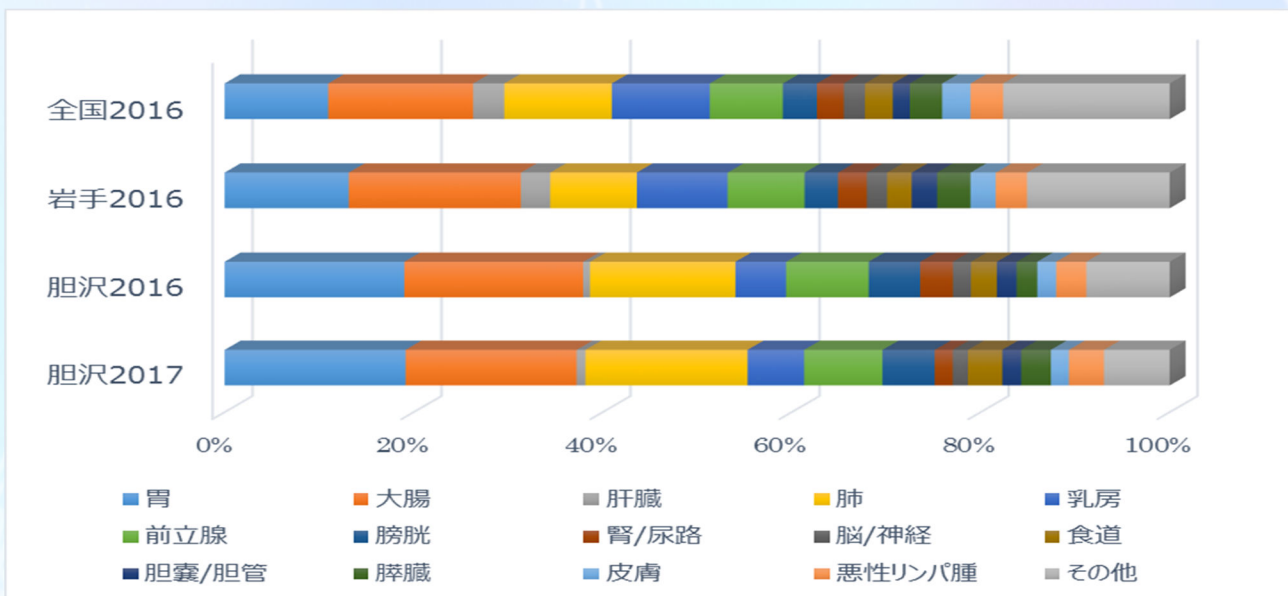
図2 大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン  
(2006年改訂版) より抜粋

# 胆沢病院 院内がん登録 2017

胆沢病院は平成20年より地域がん診療連携拠点病院に指定され、指定要件において院内がん登録の実施と、がん対策情報センターへの情報提供が義務づけられていることから、院内がん登録標準登録様式に基づいた院内がん登録を実施しています。登録は国立がん研究センター主催の研修会を受講し、試験に合格した実務者が登録することで、登録のルールを遵守し、全国の拠点病院のデータと比較することが出来る仕組みとなっています。院内がん登録の対象となるのは入院・外来を問わず、胆沢病院において当該腫瘍（がん）について初診し、診断又は治療等を行った症例であり、2017年は1050症例が対象となりました。全国集計については下記URLよりご覧ください。

[https://ganjoho.jp/reg\\_stat/statistics/brochure/hosp\\_c\\_registry.html](https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/hosp_c_registry.html)

部位別の登録割合で比較すると、当院は胃・大腸・肺の登録割合が多くなっているのが特徴です。肝臓・乳房の割合は少ないですが、前立腺・膀胱については比較的多くの症例を扱っています。



がん登録の目的は、がん登録の結果・数値を比較検討し、その原因を解消することで「がん医療水準均てん化」を促進することです。これまでのがん登録は、データの登録・集計に時間がかかり、有効活用されないという問題点が指摘されていましたが、院内がん登録のルールや手順が明確になり登録期限も定められたことからデータ集計も早期に行われるようになってきました。国立がん研究センターが公開していた生存率は昨年までは5年生存率のみでしたが、今年から3年生存率が公開されることとなりました。生存率については下記URLよりご覧ください。

[https://ganjoho.jp/reg\\_stat/statistics/brochure/hosp\\_c\\_reg\\_surv.html](https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/hosp_c_reg_surv.html)

院内がん登録データを用いた患者動向の調査、生存率調査を行う為には、精度の高い登録を継続して行うことが重要です。

今後も診療に役立つ「がん登録」をめざし、精度の高い登録とデータ活用に努めてまいります。

(文責：診療情報管理室主査 名郷根 幸枝)



# 8 階 病 棟



佐々木看護師長（後列左から4人目）とスタッフのみなさん

看護師長 佐々木 美江子

8階病棟は、一般病棟50床と結核病棟9床が併設された病棟です。主に肺炎、喘息、慢性閉塞性肺疾患、肺癌、結核など呼吸器疾患の患者さんを受け入れています。在宅酸素療法導入、気管支鏡検査、睡眠時無呼吸症候群の検査なども行っています。息苦しさを訴える患者さんに、息切れなどの症状を軽減させることを目的として、リハビリスタッフと共に呼吸リハビリテーションを取り入れ、デイルームで毎日ラジオ体操を行っています。また、認知症ケアチームと協力し「身体抑制のない看護」を目指し日々努力を重ねています。チーム医療として多職種が連携し、患者さん一人一人の生活の質の向上を目指した看護を提供出来るようスタッフ一丸となり取り組んでいます。

8階病棟は最上階にあり、晴れた日には岩手山や早池峰山が一望でき、患者さんやご家族の目を楽しませています。

## 認知症看護認定看護師の紹介

胆沢病院初の  
「認知症看護認定看護師」が  
誕生！



認知症看護認定看護師

おいかわ さとみ  
及川 聡美

当院の新たな分野として、今年度認定資格を取得しました及川です。

認知症看護認定看護師は、認知症の方の意思を尊重し権利を擁護する、行動心理症状(BPSD)を悪化させる要因・誘因に働きかけ予防・緩和する、介護されているご家族への支援等の役割を担っています。また、これまでの生活史から身体的・心理的・社会的背景を全人的に捉える視点をもち、一人一人の健康と尊厳のある生活を支援することが求められています。

現在は、病棟に所属しながら認知症ケアチームの専任看護師として、院内をラウンドしており、多職種と連携することで、生活機能の維持・向上、コミュニケーションの工夫、安全かつ安心できる療養環境調整等、身体疾患を抱えて入院している認知症の方への療養支援を行っています。生活者としての視点を持ちながら、もてる力とできることを最大限に活かし、その人らしいいきいきと過ごせるよう支援していきたいと思っています。

地域から病院へ、そして病院から地域へ、院内外の多職種と連携しながら、認知症の方やそのご家族を地域で支える、切れ目ないケアを提供する一助となれば幸いです。認知症の方、ご家族や医療スタッフ共に笑顔が続くケアと一緒に考えていけるよう尽力して参りますので、よろしくお願いたします。

## 白内障手術を再開しました

当院の眼科は、平成30年5月より常勤医が不在となり、手術の受入れができな  
い状況となっていました。白内障手術を再開いたしますので、ご案内申し上げ  
ます。

手術患者の紹介方法は、従来のおり「診療申込書(紹介患者用)」と「診療情報  
提供書」を紹介センター宛FAXをお願いします。手術目的での紹介の場合、水  
曜日の外来診療へご紹介をお願いします。

手術目的以外での紹介の場合、金曜日の外来診療へご紹介をお願いします。応援  
診療医師による手術再開のため、眼科における入院については現況どおり受入れ  
不可となります。



## 病病診連携症例検討会を開催しています

当院では、地域医療支援病院として、  
地域の医療機関と「顔と顔が見える関係  
づくり」、連携の一環として「奥州地域  
病病診症例検討会」を定期的に開催して  
います。症例の提供、および多くの皆様  
のご参加をお願いいたします。

日時：毎月最終木曜日19:00～

場所：胆沢病院大会議室

## 年末年始の診療体制について

下記の期間、外来診療(全科)を休診し、  
日当直医師による救急診療体制となります。  
救急のご紹介は、中央処置室にご連絡をお願  
いいたします。

12月29日(土)	1月1日(火)
12月30日(日)	1月2日(水)
12月31日(月)	1月3日(木)



## 岩手県立胆沢病院の基本理念

### <基本理念>

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します。

### <行動指針>

- 1) 患者さんと家族、私たちとの協働医療(専門性を結集した多職種による、患者参加型のチーム医療)
- 2) 患者さんの背景・価値観に配慮した医療
- 3) 患者さんが安心できる、良質で安全な医療
- 4) 地域の医療・福祉・行政との連携と機能分担
- 5) 次の世代を担う優れた医療人の育成

### <病院運営方針>

- 1) 救急医療を含む急性期医療  
胆江保健医療圏の基幹病院として、24時間対応の救急医療など、圏域の急性期医療、高度・専門医療を担います。
- 2) がん医療  
地域がん診療連携拠点病院として、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療の提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。
- 3) 地域医療支援  
地域医療支援病院として、紹介・逆紹介の推進、地域医療機関との共同診療、地域の医療従事者・地域住民に対する研修・教育を行います。
- 4) 災害医療  
地域災害拠点病院として、災害時の傷病者の受入れや地域医療機関への支援、DMATチームの派遣を行います。
- 5) 臨床研修、スタッフ教育  
臨床研修指定病院・各種学会認定研修施設として、次の世代を担う医療従事者を育成するとともに、病院スタッフの研鑽に努めます。  
上記5項目の実践・充実のため、誇りを持てる職場づくりと健全な病院運営に努めます。



## 岩手県立胆沢病院 地域医療福祉連携室

〒023-0864

岩手県奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地

TEL 0197-24-4121

FAX 0197-24-4180 (紹介センター専用)

URL <http://www.isawa-hp.com/>